



○ 溶連菌感染症の症状は？

症状の代表的なものは、**発熱**（38～39℃）と**“のど”の痛み**です。しかし、3歳未満ではあまり熱があがらないと言われています。そして、体や手足に**小さくて紅い発疹**が出たり、舌にイチゴのようなツブツブがでかたりします（**イチゴ舌**）。そのほかに頭痛、腹痛、首すじのリンパ節の腫れもみられます。急性期を過ぎますと、発疹のあとには**落屑**（皮むけ）が認められるようになります。風邪と違って咳や鼻水が出ないというのもこの病気の特徴です。この病気には潜伏期間があり、実際に感染してからだいたい2～5日で症状がでます。

○ 溶連菌感染症ってどんな病気？

溶連菌とは、正式には溶血性連鎖球菌と呼ばれる細菌で、 α 溶血と β 溶血を呈する2種類があり、後者でヒトに病原性を有するものは、A群、B群、C群、G群などです。溶連菌感染症の90%以上がA群によるものです。したがって、一般には**A群溶血性連鎖球菌（A群 β 溶血性連鎖球菌）**による感染症を溶連菌感染症として理解されているといってもよいでしょう。主に**“のど”**に感染して、**咽頭炎**や**扁桃炎**、それに小さく紅い発疹を伴う**猩紅熱**といった病気を引き起こします。

のどが痛い時や食欲がない時の飲み物・食べ物



- 熱いもの
- 冷たすぎるもの
- 辛いもの
- すっぱいもの
- にがいもの



- のどごしがいもの
ゼリー、ヨーグルト、パパロア、プリン、ポタージュスープなど
- 消化のよいもの
お粥、パン粥、煮込みうどん、煮た野菜（ほうれんそう、にんじん、大根、じゃがいもなど）、豆腐、茶碗蒸し、白身の魚など



5月8日（水）小児健康診断です!!!



【突発性発疹】

6か月から1歳くらいの子どものかかると多い病気です。この病気で初めて熱が出た！という事も少なくありません。でも子どもは比較的元気なことが多いもの。水分補給を心がけ家庭で安静にして過ごせば心配ありません。

※突発性発疹は感染の恐れがありますので、登園許可証が必要になります。

【すり傷】

- ◎傷口に入った砂などの異物を水で洗い流しましょう。
- ◎ガーゼの傷薬を厚めに伸ばして貼り付け毎日交換しましょう。
- ◎ガーゼがはがれにくい場合は水でぬらすとはがれやすくなります。
- ◎はがした後の傷は痛くないように洗いましょう。

【切り傷】

- ◎水道水で傷口を洗いましょう。
- ◎絆創膏等で傷口を固定します。
- ◎傷口が開かないように固定すると痛くなく、早く治す事ができます。
- ◎傷が深い、出血が止まらないなどの場合はすぐに受診しましょう！



【植物かぶれ】

- ◎植物の中には発疹や水疱等を起こす物もあります。症状が出た場合患部を触って広がらないように衣服を着替えたり、患部を流水で流し、かゆみ止め等を塗ったりしましょう。
- ◎水疱は清潔なガーゼでおおいます。患部が広がったりかゆみが治らない場合は受診しましょう。

【爪を切って清潔に】

- ◎爪が伸びていると、爪と指との間にばい菌が繁殖しやすくなります。
- ◎また、乳幼児のやわらかい肌を傷つける危険性もありますので、爪はこまめに切るようにしましょう。
- ◎ただし、深爪には要注意!!!
- ◎切りすぎて肌を傷つけ化膿してしまうこともあります。